



## 2020年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2020年5月15日

上場会社名 FRACTALE株式会社  
コード番号 3750 URL <https://www.frac-tale.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀江 聡寧

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 関本 秀貴

TEL 03-5501-4100

定時株主総会開催予定日 2020年6月25日 配当支払開始予定日

2020年6月26日

有価証券報告書提出予定日 2020年6月25日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	1,180	38.7	129		185		319	46.1
2019年3月期	1,924	268.6	293	124.8	204	60.3	592	31.7

(注) 包括利益 2020年3月期 317百万円 (46.4%) 2019年3月期 592百万円 (31.7%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円銭	円銭	%	%	%
2020年3月期	47.58		8.6	1.6	10.9
2019年3月期	88.30		17.8	3.1	15.2

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 百万円 2019年3月期 百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
2020年3月期	15,482	3,832	24.6	568.06
2019年3月期	7,485	3,600	48.1	536.39

(参考) 自己資本 2020年3月期 3,812百万円 2019年3月期 3,600百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	531	7,423	6,358	999
2019年3月期	2,750	1,376	1,936	1,533

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭	百万円	%	%
2019年3月期		0.00		20.00	20.00	134	22.6	4.0
2020年3月期		0.00		10.00	10.00	67	21.0	1.8
2021年3月期(予想)								

(注)2021年3月期の配当につきましては、現段階では未定とし、開示が可能となった段階で、配当予想を速やかに公表いたします。

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大が業績に与える影響を現段階において合理的に算定することが困難なことから未定としております。業績予想の開示が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 4社(社名) サイトリ・セラピューティクス株式会社、Cytori Japan S1投資事業有限責任組合、FRACTALEホテルマネジメント株式会社、ホテル金沢株式会社

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 以外の会計方針の変更 : 無  
 会計上の見積りの変更 : 無  
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期	7,183,195 株	2019年3月期	7,183,195 株
期末自己株式数	2020年3月期	471,216 株	2019年3月期	470,565 株
期中平均株式数	2020年3月期	6,712,293 株	2019年3月期	6,712,828 株

(参考) 個別業績の概要

2020年3月期の個別業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	235	6.5	95	46.4	450	31.9	543	54.3
2019年3月期	220	831.4	65		662		1,190	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	81.01	
2019年3月期	177.38	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円		
2020年3月期	9,819	3,943	3,943	40.2	587.50	
2019年3月期	3,570	3,534	3,534	99.0	526.51	

(参考) 自己資本 2020年3月期 3,943百万円 2019年3月期 3,534百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績等は今後の様々な要因によって予想値と大きく変わる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「経営成績等の概況」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	2
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	5
連結損益計算書 .....	5
連結包括利益計算書 .....	5
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	6
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9
(1株当たり情報) .....	10
(重要な後発事象) .....	10

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、政府や日銀による施策を背景に企業収益や雇用環境の改善など緩やかな景気回復の兆しはあったものの、消費税引き上げ後の個人消費の減速、米中貿易摩擦問題や新型コロナウイルス感染症が世界経済に与える影響など、景気の先行きは極めて不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループにおきましては、事業基盤の整備・拡充、ならびに事業領域における競争力強化、収益性の向上に注力し、積極的に取り組んでまいりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は1,180百万円（前連結会計年度比△38.7%）、営業利益は△129百万円（前連結会計年度は293百万円）、経常利益は△185百万円（前連結会計年度は204百万円）となり、違約金収入等を計上した結果、親会社株主に帰属する当期純利益は319百万円（前連結会計年度比△46.1%）となりました。

なお、2019年7月に、ナッツリアルエステート(同)はホテルKANAZAWA(同)へ商号を変更しております。

また、同年4月に、Cytori Japan S1投資事業有限責任組合への出資を通じてサイトリ・セラピューティクス株式会社の株式を取得し、同年8月に、アドミラル(株)との合弁会社としてFRACTALEホテルマネジメント(株)を設立、そして、同年9月に、ホテルKANAZAWA合同会社（旧 ナッツリアルエステート合同会社）が組成する匿名組合への出資を通じてホテル金沢株式会社の株式を取得し、連結の範囲に含めております。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### 資産、負債及び純資産の状況

当連結会計年度末における流動資産は6,479百万円となり、前連結会計年度末より776百万円減少いたしました。これは主に、サイトリ・セラピューティクス(株)（以下「サイトリ社」という。）及びホテル金沢(株)の資産の受入額を、サイトリ社及びホテル金沢(株)の取得資金の支払が上回ったことによるものであります。

固定資産は9,003百万円となり、前連結会計年度末より8,774百万円増加いたしました。これは主に、ホテル金沢(株)の資産の受入によるものです。

この結果、総資産は15,482百万円となり、前連結会計年度末より7,997百万円増加いたしました。

当連結会計年度末における流動負債は812百万円となり、前連結会計年度末より73百万円減少いたしました。

固定負債は10,837百万円となり、前連結会計年度末より7,838百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は11,650百万円となり、前連結会計年度末より7,765百万円増加いたしました。

純資産は、3,832百万円となり、前連結会計年度末より232百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金の増加によるものであります。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、金融機関及び匿名組合員からの資金調達に加え、手元資金による積極的な企業買収を行ったため、前連結会計年度末に比べ533百万円減少し、当連結会計年度末には999百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における営業活動の結果、増加した資金は531百万円（前年同期は2,750百万円の減少）となりました。これは主に税金等調整前当期純利益の計上によるものであります。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における投資活動の結果、減少した資金は7,423百万円（前年同期は1,376百万円の増加）となりました。これは主に、貸付による支出及び連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出によるものであります。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における財務活動の結果、増加した資金は6,358百万円（前年同期は1,936百万円の増加）となりました。これは主に長期借入による収入によるものであります。

当社グループのキャッシュ・フロー指標のトレンドは下記のとおりであります。

	2016年 3月期	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期
自己資本比率 (%)	82.6	95.6	57.2	48.1	24.6
時価ベースの自己資本比率 (%)	40.5	73.8	61.2	43.1	44.0
債務償還年数 (年)	—	—	8.6	—	16.5
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	—	577.4	14.1	—	9.2

- (注) ・自己資本比率：自己資本／総資産  
 ・時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産  
 ・債務償還年数：有利子負債／営業キャッシュ・フロー  
 ・インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

※ 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

※ 株式時価総額は、期末株価終値× 期末発行済株式総数により算出しております。

※ 営業キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

※ キャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオは、営業キャッシュ・フローがマイナスの場合は記載しておりません。

#### (4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、米中の貿易摩擦に加え、英国のEU離脱による欧州経済への影響、さらには新型コロナウイルス感染症拡大などにより、先行き不透明な状況が推移すると予測しております。とりわけ、新型コロナウイルス感染症は世界規模で急速に拡大しており、世界各国で緊急の対応に追われ、世界経済への長期的な影響が懸念されております。

国内でも、感染が広がっている新型コロナウイルス感染症の拡大により、当社グループにおける不動産・ファイナンス事業の売上等の業績にも影響が開始しております。とりわけ、緊急事態宣言が発令されたことによる外出自粛及び営業自粛要請により、当社グループの連結子会社が経営するホテル金沢では、感染拡大予防措置として一般宴会等の各種イベントの中止や、運営レストランの臨時休業などの対応をとっており、当面の間は業績に大きな影響が及ぶことが懸念されます。その対策として当社グループでは、ホテル金沢において、資金借入による手元資金の確保、少人数によるオペレーション体制の構築、各種コストの削減を実行しており、安定した資金繰りと収益の改善に向けた対策を講じております。

当社グループは、サイトリ社を連結子会社化した2019年4月以降、「医療技術やバイオを活用して価値を創造するプラットフォームカンパニー」を目標に掲げ、近年の市場環境の大きな変化や世界中で猛威をふるう新型コロナウイルスの影響で経営環境の厳しさが増している不動産やホテル単体での事業展開ではなく、医療技術やバイオを付加した事業展開を実施し、これまで以上に意思決定を迅速にして、企業価値の向上を図っていきます。

なお、2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスによる影響を現時点において合理的に算出することが困難であることから未定としております。

今後、業績予想の開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,533,395	999,505
販売用不動産	5,511,461	5,246,308
商品	-	122,771
その他	211,206	111,045
流動資産合計	7,256,062	6,479,631
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,366	3,777,119
土地	-	3,871,546
その他(純額)	3,140	13,278
有形固定資産合計	5,507	7,661,944
無形固定資産		
のれん	-	784,941
その他	3,550	74,398
無形固定資産合計	3,550	859,340
投資その他の資産		
投資有価証券	200,000	369,242
繰延税金資産	-	49,308
その他	19,951	63,308
投資その他の資産合計	219,951	481,859
固定資産合計	229,009	9,003,144
資産合計	7,485,072	15,482,775
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	280,000	27,100
1年内返済予定の長期借入金	110,400	520,800
その他	495,427	264,700
流動負債合計	885,827	812,600
固定負債		
長期借入金	2,889,600	8,218,800
匿名組合出資預り金	-	986,412
繰延税金負債	-	1,314,565
その他	109,070	317,647
固定負債合計	2,998,670	10,837,426
負債合計	3,884,497	11,650,026
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	2,380,196	2,407,796
利益剰余金	1,257,073	1,442,216
自己株式	△136,694	△137,187
株主資本合計	3,600,574	3,812,824
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	-	△47
その他の包括利益累計額合計	-	△47
非支配株主持分	-	19,970
純資産合計	3,600,574	3,832,748
負債純資産合計	7,485,072	15,482,775

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	1,924,605	1,180,408
売上原価	1,436,100	424,085
売上総利益	488,505	756,322
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	42,556	215,260
減価償却費	1,674	112,210
支払手数料	40,646	155,240
その他	110,355	402,770
販売費及び一般管理費合計	195,233	885,482
営業利益又は営業損失(△)	293,272	△129,159
営業外収益		
受取賃貸料	6,844	-
受取保険金	2,569	-
その他	939	3,744
営業外収益合計	10,353	3,744
営業外費用		
支払利息	36,917	57,470
その他	62,255	2,577
営業外費用合計	99,173	60,047
経常利益又は経常損失(△)	204,452	△185,462
特別利益		
関係会社株式売却益	359,960	97
違約金収入	30,000	495,000
特別利益合計	389,960	495,097
特別損失		
固定資産処分損	128	2,656
本社移転費用	-	1,212
特別損失合計	128	3,869
匿名組合損益分配前税引前当期純利益	594,283	305,765
匿名組合損益分配額	-	△13,587
税金等調整前当期純利益	594,283	319,353
法人税、住民税及び事業税	1,555	1,826
法人税等調整額	-	33
法人税等合計	1,555	1,859
当期純利益	592,728	317,494
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	-	△1,900
親会社株主に帰属する当期純利益	592,728	319,394

## (連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	592,728	317,494
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	-	△47
その他の包括利益合計	-	△47
包括利益	592,728	317,447
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	592,728	319,347
非支配株主に係る包括利益	-	△1,900

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100,000	2,944,216	167,456	△136,424	3,075,248
当期変動額					
欠損填補		△496,888	496,888		-
剰余金の配当		△67,132			△67,132
親会社株主に帰属する当期純利益			592,728		592,728
自己株式の取得				△270	△270
当期変動額合計	-	△564,020	1,089,617	△270	525,326
当期末残高	100,000	2,380,196	1,257,073	△136,694	3,600,574

	純資産合計
当期首残高	3,075,248
当期変動額	
欠損填補	-
剰余金の配当	△67,132
親会社株主に帰属する当期純利益	592,728
自己株式の取得	△270
当期変動額合計	525,326
当期末残高	3,600,574

当連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100,000	2,380,196	1,257,073	△136,694	3,600,574
当期変動額					
連結子会社の増資による持分の増減		27,600			27,600
剰余金の配当			△134,252		△134,252
親会社株主に帰属する当期純利益			319,394		319,394
自己株式の取得				△492	△492
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					—
当期変動額合計	—	27,600	185,142	△492	212,249
当期末残高	100,000	2,407,796	1,442,216	△137,187	3,812,824

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	—	—	—	3,600,574
当期変動額				
連結子会社の増資による持分の増減		—		27,600
剰余金の配当		—		△134,252
親会社株主に帰属する当期純利益		—		319,394
自己株式の取得		—		△492
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△47	△47	19,970	19,923
当期変動額合計	△47	△47	19,970	232,173
当期末残高	△47	△47	19,970	3,832,748

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	594,283	319,353
減価償却費	49,944	149,876
のれん償却額	-	23,668
関係会社株式売却損益(△は益)	△359,960	-
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,419,601	246,937
前受金の増減額(△は減少)	472,700	△456,648
その他	△46,602	308,084
小計	△2,709,235	591,273
利息の支払額	△40,171	△58,041
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△1,407	△1,622
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,750,813	531,609
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△200,000	△169,064
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	△1,604,032
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	1,525,921	-
貸付けによる支出	-	△5,630,000
貸付金の回収による収入	25,000	-
その他	25,553	△20,600
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,376,474	△7,423,698
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	880,000	-
短期借入金の返済による支出	△2,800,000	△280,000
長期借入れによる収入	4,000,000	6,000,000
長期借入金の返済による支出	△20,835	△260,400
匿名組合員からの払込みによる収入	-	1,000,000
非支配株主からの払込みによる収入	-	27,600
配当金の支払額	△67,132	△134,252
その他	△55,289	5,410
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,936,743	6,358,358
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	△158
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	562,404	△533,889
現金及び現金同等物の期首残高	970,990	1,533,395
現金及び現金同等物の期末残高	1,533,395	999,505

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

当社グループは、不動産&amp;フィナンシャル事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

## 【関連情報】

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

## 1. 製品及びサービスごとの情報

当社グループは、不動産&amp;フィナンシャル事業の単一セグメントであり、当該事業の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

本邦以外への売上高がないため、記載を省略しております。

## (2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

## 3. 主要な顧客ごとの情報 (単位:千円)

顧客の名称又は氏名	売上高
C社	1,600,000

(注) 1 守秘義務を負っているため、社名の公表は控えさせていただきます。

2 当社グループは単一セグメントであるため、関連するセグメント名の記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

## 1. 製品及びサービスごとの情報

当社グループは、不動産&amp;フィナンシャル事業の単一セグメントであり、当該事業の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

本邦以外への売上高がないため、記載を省略しております。

## (2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

## 3. 主要な顧客ごとの情報 (単位:千円)

顧客の名称又は氏名	売上高
D社	277,777

(注) 1 守秘義務を負っているため、社名の公表は控えさせていただきます。

2 当社グループは単一セグメントであるため、関連するセグメント名の記載を省略しております。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	536円39銭	568円06銭
1株当たり当期純利益	88円30銭	47円58銭

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
純資産の部の合計額	3,600,574千円	3,832,748千円
純資産の部の合計額から控除する金額	－千円	19,970千円
普通株式に係る期末の純資産額	3,600,574千円	3,812,777千円
1株当たり純資産の算定に用いられた期末の 普通株式の数	6,712,630株	6,711,979株

3 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益	592,728千円	319,394千円
普通株主に帰属しない金額	－千円	－千円
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期 純利益	592,728千円	319,394千円
普通株式の期中平均株式数	6,712,828株	6,712,293株

## (重要な後発事象)

連結子会社の増資

当社の連結子会社であるサイトリ・セラピューティクス(株) (12月決算) は、2020年3月23日開催の臨時株主会において、株主及び第三者に対し新株式の発行について決議いたしました。当社の連結子会社Cytori Japan S1投資事業有限責任組合 (12月決算) は、当該増資のうち25株を引き受けており、増資後の当社の実質的な持分比率は56.37%となっております。

その概要は以下のとおりであります。

- |                      |               |
|----------------------|---------------|
| (1) 発行株式数：           | 普通株式 419株     |
| (2) 発行価額：            | 1株当たり952,000円 |
| (3) 発行価額の総額：         | 398,888千円     |
| (4) 発行価額のうち資本に組入れた額： | 199,444千円     |
| (5) 払込のスケジュール：       | 2020年3月24日    |
| (6) 資金の用途：           | 運転資金          |

株式交換による完全子会社化

当社は、2020年5月15日開催の取締役会において、当社を株式交換完全親会社とし、当社の連結子会社であるサイトリ・セラピューティクス株式会社 (以下「サイトリ社」という。) を株式交換完全子会社とする株式交換 (以下「本株式交換」という。) を実施することを決議し、同日内で株式交換契約 (以下「本株式交換契約」という。) を締結いたしました。

なお、本株式交換については、当社及びサイトリ社のそれぞれ株主総会での決議により、本株式交換契約の承認を得た上で、2020年7月7日を効力発生日として行われる予定です。

当該企業結合の概要は以下のとおりであります。

## 1. 企業結合の概要

## (1) 被取得企業の名称及び事業の内容

株式交換完全子会社の名称 サイトリ・セラピューティクス株式会社

事業の内容 医療機器の製造、輸出入及び販売  
医療機器の修理及び賃貸  
幹細胞バンクシステム（幹細胞の保管・貯蔵）導入・運用

(2) 企業結合の目的

当社では、医療、金融、不動産事業の資産マネジメントを通じて、当社ステークホルダーの方々に持続的な価値提供を作り出すことに取り組んでおります。

サイトリ社買収当初は、同社の国内市場での新規株式公開を支援していく方針でありましたが、その実現までに期間を要することが判明したこと、親子上場に係る潜在的な利益相反の可能性の排除のため機動的かつ柔軟な経営体制の構築が困難になること等から、新規株式公開ではなく、完全子会社化することが、当社グループの経営の効率化を更に進め、当社グループの企業価値向上に資すると判断いたしました。

(3) 企業結合日

2020年7月7日

(4) 企業結合の法的形式

株式交換

(5) 結合後企業の名称

変更はありません

(6) 取得した議決権比率

100%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が本株式交換により、サイトリ社の議決権の100%を取得し、サイトリ社が完全子会社になることによるものであります。

2. 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する摘要指針」（企業会計基準摘要指針第10号）に基づき、共通支配下の取引として処理する予定です。